

CHAPTER 01

解 答

01

②

- ・スマートフォンやタブレットなどの携帯情報端末を主なターゲットとしている。
- ・ロゴは緑色のロボットで、正式名称はない。「ドロイド君」は日本での通称。
- ・Windowsでも開発が可能である。

解 答

02

③

すべてのAndroid端末がアクセスできるわけではなく、Googleが定めた基準(CDD)に従った端末だけがアクセスできる。

解 答

03

④

Google Developerサイトの情報は会員登録をしなくても無料で全ての開発情報を見ることができる。

CHAPTER 02

解 答

01

①

- ・Android Studioを実行するには、Java SE 6以上のバージョンが必要。
- ・Java開発環境として必要なのは「JDK：Java SE Development Kit」である。

解 答

02

③

エミュレータはソフトウェアで動作するため、動きが遅い。

解 答

03

以下の図の通り

Android 4.0	→	Jelly Bean
Android 4.1	→	Lollipop
Android 4.4	→	Ice Cream Sandwich
Android 5.0	→	KitKat

CHAPTER 03

解 答

01

- ① mdpi
- ② 240
- ③ 320
- ④ xxhdpi

解 答

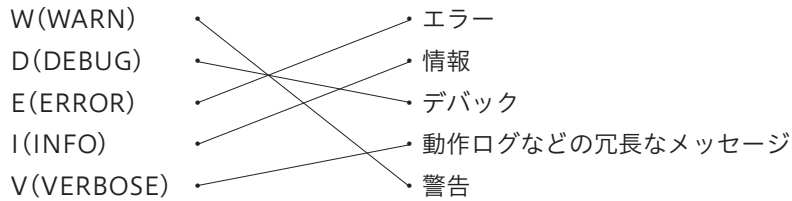
02

- ① ○
- ② × (正しくは「.xml」である)
- ③ ○
- ④ ○

解 答

03

以下の図の通り



CHAPTER 04

解 答

01

- ① 親クラス
- ② EditText
- ③ TextView
- ④ 画像

解 答

02

- ① ○
- ② × (縦も横も配置でき、使用頻度も高い)
- ③ ○
- ④ × (Android OS 4.0で追加された)
- ⑤ ○

CHAPTER 05

解 答

01

- ① ○
- ② ○
- ③ × (実際にはActivityと同じThreadで動作するため影響がある)
- ④ ○

解 答

02

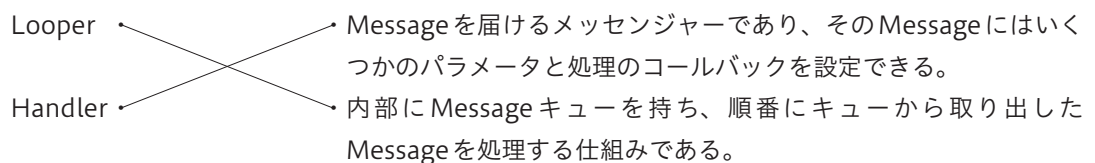
①

- ・ SupportLibraryのFragmentはAndroid1.6から利用できる。
- ・ FragmentからActivityのインスタンス取得は「getActivity」で取得できる。

解 答

03

以下の図のとおり



CHAPTER 06

解 答

01

GridLayout または TableLayout であれば格子上のレイアウトを作成するの適している。
詳細は LESSON 27 の表 1 を参照。

解 答

02

- ① match_parent
- ② center_vertical
- ③ vertical
- ④ bold
- ⑤ wrap_content

CHAPTER 07

解 答

01

- ① 暗い色、② Light、③ DarkActionBar

詳細は LESSON 30 の表 1 を参照。

解 答

02

- ① × (タイトルや背景、高さなど変更できない点が多い)
- ② ○
- ③ ○

CHAPTER 08

解 答

01

- ① ○
- ② × (Gradle のプラグイン適用です)
- ③ × (Java のソースフォルダの設定です)
- ④ × (applicationId の設定です)

解 答

02

- ① ○
- ② × (JSON や XML など検索可能)
- ③ ○
- ④ × (「query()」はデータの検索を実装する)

解 答

03

- ① uses-permission、② INTERNET

詳細は LESSON 37 のリスト 5 および講義「インターネットへのアクセス」を参照。

CHAPTER 09

解 答

すべて○

01

解 答

④

詳細は LESSON 40 の講義「テクスチャとは」を参照。

02

解 答

Gdx.input.justTouched()

詳細は LESSON 40 のリスト 10 を参照。

03

CHAPTER 10

解 答

すべて必要である。

01

解 答

① ○

② × (Android 専用ソフトウェアパッケージ)

③ ○

④ × (コマンドラインからでも作成できます)

02

解 答

① (コンテンツポリシーのスパムの条項に違反)と② (コンテンツポリシーのプロモーションの条項に違反)

03